

平成 29 年度 研究成果報告書  
Research Achievement Report FY2017

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ I 講座・教授
氏名 Name	岡本 真理
専門分野 Academic Field	ハンガリー言語社会論

主たる研究テーマ Principal Research Subject	近代ハンガリーの政治喜劇
<p>今年度は、1848 年革命期ハンガリーの政治喜劇の中から、今日に残された数少ない貴重な作品およびその作者について詳細に調べることによって、これらの作品を通して刻々と変化する当時の社会情勢やそこに生きた人々の関心や考え方を捉えようと試みた。5つの作品に注目し、そこに描かれた革命というテーマにおける対立構造を分析し、その特徴を検討し、ハンガリー文学史においてこれらの喜劇がどのように評価されるかについても考察を行った。</p> <p>1848 年革命期の政治喜劇は、政治思想と恋愛という 2つのテーマを対立構造の中に組み込み、革命の達成と恋愛の成就を重要な 2つのプロットとして同時並行に描くという点で、共通した構造を持っている。その内容においては、実は民族問題はテーマとなっていないことがわかった。そこでは、複雑で困難な近代ハンガリーの民族問題はほとんど関心の内に入ってくることはなく、国内の諸民族は近代革命を達成したハンガリーに内包されるべき国民に他ならず、民族問題はア priori に存在しないとされているとさえいえる。むしろ、これらの作品では階級差の問題と対立が明確に設定され、「市民的平等」という理想を掲げる革命支持派でさえも、実際はみな互いの階級を軽蔑し融和しようとしなない社会の現実を描いた。喜劇作品はこれを市民革命の実現を阻む深刻な問題であると捉えて警鐘を鳴らし、それをあえて風刺とユーモアで包んで人々に提示することによって、より効果的に訴えたことがわかった。</p> <p>以上の作品紹介と分析について、第 44 回日本ウラル学会研究大会において口頭発表を行い、『言語文化研究』第 44 号に研究ノートとして発表した。</p>	